

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・トランプ殿

抗議文

2018年10月15日
核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）
代表世話人会

貴国政府が西部ネバダ州の核実験場で2017年12月13日、核爆発を伴わない未臨界核実験を行っていたことが報道されました。

私たち核戦争に反対する医師の会は、唯一の戦争被爆国である日本の医師・歯科医師として、また、命と健康を守る医師・歯科医師として強く抗議するものです。

貴国政府は、今年2月に発表した「核態勢見直し（NPR）」において、これまでの政権がすすめてきた核軍縮方針を大きく転換させ、核兵器の近代化と新型核兵器・小型核兵器の開発など、これまで以上に核兵器の使用に踏み込む姿勢を露わにしています。

今回の核実験は、今年2月のNPR発表に先だって、少量のプルトニウムを使用する核実験を強行し、しかも今年12月にもまた核実験を行おうとしていることは、さらなる核拡散や核軍備拡張競争を招くものといわざるを得ません。

核兵器のない世界の実現を願う圧倒的多数の世界の国々や世論に真っ向から反するもので、到底許されものではありません。

また、北朝鮮に対して核実験の中止と核兵器の放棄を強く求めながら、未臨界とはいえ、自国での核実験を行うこと自体、あってはならないものです。

私たちは、たとえ少量であろうと、小型であろうと、核爆発を伴わない形であろうと、今後一切の核実験を行わないよう、貴国政府に強く要求します。

最後に、私たちは、核兵器廃絶を願う世界の人々と連帯し、一日も早い核兵器禁止条約の発効に向けた取り組みをすすめていくことを表明します。